

令和2年度 第1回筑後市地域自立支援協議会 相談支援部会

開催日時：令和2年6月30日（火）13：30～15：00

開催場所：筑後市総合福祉センター 1階会議室

出席者（事業所）

県南障害者サポートセンター、相談支援事業所プラム、ちくご、相談支援事業所ねんりん、相談支援事業所ちゃおちゃお、相談支援事業所ココkara、八女地区障害者支援地域生活支援拠点センターすいれん、デュナミス、福祉課、相談支援事業所ちくたくネット、事務局

★今回は、日本相談支援専門員協会から新型コロナウイルスの影響を調査するためアンケート依頼があっていたので、そのアンケートについて部会員で意見交換をしました。

★意見交換

- ・新型コロナウイルスの影響で、過剰に反応したり、不要な外出をする方に正確な情報を伝えるよう努めた
 - ・このような時期で会議やモニタリングが直接会ってできず、利用者の状況が分かりづらい
 - ・今後、リモートやズームなどネット環境の設定を検討していくべき
 - ・通常のサービスが利用できない場合の代替サービスについて、日頃から準備や検討が必要
 - ・感染予防の知識や意識を高く持ち、継続して感染予防対策に取組み、事前に感染者が発生した場合のシミュレーションをすることが必要
- 等、他にも様々な活発な意見がありました。

★相談支援部会では、筑後市障害者基本計画「相談支援のさらなる充実」を念頭に、関係機関はもちろんのこと、地域との連携を目指した活動を行っていきたいと考えています。

開催日時：令和2年8月26日（水）13：30～14：30

開催場所：筑後市総合福祉センター 2階大会議室

出席者（事業所）

年輪の園、浩明寮・仁愛荘、プラムの小径、プラム.ちくご、わかたけ作業所、自立生活センターちくご、筑後市社会福祉協議会、ヘルパーステーションキリン、桜園、筑後市手をつなぐ育成会、県南障害者サポートセンター、相談支援事業所ちやおちやお、デュナミス、すいれん、筑後市ホームヘルプ、生活支援コーディネーター、筑後市役所福祉課、ちくたくネット、事務局

3事業所リモートで参加

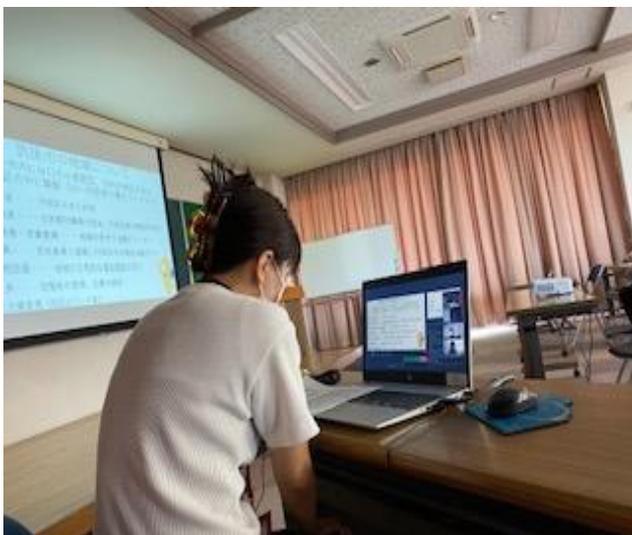


★ 感染対策として今回は初めてリモートと会場内での開催となりました。

災害時の支援ということで、生活部会と相談支援部会の合同開催となり、相談支援専門員より「生活支援コーディネーターとの連携について～重度障害児の災害時の避難を通じて～」という表題で事例紹介をしていただきました。在宅生活をしている障がい児の災害時支援について、生活支援コーディネーターを通じて地域の方々に協力を依頼したという事例でした。



3密を避け、換気を行い、席の間隔をあけています。



★生活支援コーディネーターの活動としては支え合う地域作りがある。公的サービスでまかなうことに限界があるため、地域との結びつきを強くし地域共生社会を実現する必要性があるとの話がありました。

★また生活支援コーディネーターより事例について、どのように地域の方々に声掛けを行い支援の協力依頼をしたかの説明がありました。地域の方々の協力を得て、障がい児（者）が地域で安心して暮らせるよう架け橋となり今後も障害福祉サービス事業所と連携していきたい、ぜひ生活支援コーディネーターをご活用下さいとの話がありました。

令和2年度第2回 筑後市地域自立支援協議会 教育部会

開催日時：令和2年11月26日（木）10：00～11：00

開催場所：筑後市総合福祉センター 2階大会議室

出席者（事業所）

蓮の実団地よろず屋、放課後等デイサービスちやおちやお、放課後等デイサービス yellow、筑後市スクールソーシャルワーカー、筑後市家庭児童相談室、放課後等デイサービストワ・エ・モワ、放課後等デイサービスさくらんぼ、相談支援事業所ちやおちやお、相談支援事業所ねんりん、筑後市子育て世代包括支援センター、県南障害者サポートセンター、すいれん、プラム.ちくご、筑後市役所福祉課、ちくたくネット、事務局

★ 今回は、教育部会と相談支援部会合同開催となりました。10月より筑後市子育て世代包括支援センターが整備されています。役割や機能について話を伺いました。

★ 子育て世代包括支援センターとは、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を提供できることを目的とするものである。保健師等を配置して、妊産婦等からの相談に応じ、検診等の「母子保健サービス」と地域子育て支援拠点等の「子育て支援サービス」を一体的に提供できるよう、必要な情報提供や関係機関との調整、支援プランの策定などを行う機関。母子保健法を改正し、子育て世代包括支援センターを法定化し2020年度末までに全国展開を目指すとのことでした。



★参加者から活発な質問がありました。教育部会長より、「課題が複数あるケースが増えている。どこがマネジメントするかが課題であるが、それぞれの取り組みを知っておくこと、顔を知っておくことが必要だと思う。今後、教育部会としても、連携ができればと思う。」とのことでした。

★また、放課後等デイサービスびいちゃむ TRYさんより部会へ参加していただけることになり、今後連携を図っていきたいと思います。

令和2年度 第4回筑後市地域自立支援協議会 相談支援部会

開催日時：令和3年1月14日（木）13：30～14：30

開催場所：筑後市総合福祉センター 2階大会議室

出席者（事業所） 14事業所がリモート参加

【相談支援事業所】

県南障害者サポートセンター、相談支援事業所プラットフォーム、ちくご、相談支援事業所ねんりん、相談支援事業所ちゃおちゃお、八女地区障害者支援地域生活支援拠点センターすいれん、デュナミス、福祉課、相談支援事業所ちくたくネット、事務局

【居宅介護支援事業所】

筑後市内の居宅介護支援事業所より10か所参加



★ 今回の相談支援部会は、介護支援専門員（ケアマネジャー）との合同研修でした。障害福祉サービス（就労継続支援B型事業所）、介護保険サービス（通所リハビリテーション）を併用利用されている事例の紹介で、相談支援専門員・ケアマネジャー、それぞれから、関わりの経過や、連携を工夫したところ、課題などを報告してもらいました。



参加者からは、「相談支援専門員、ケアマネジャーのそれぞれの視点、それぞれの支援が重なることで、利用者さんの生活がより豊かになり良かったのではないか」との感想が聞かれました。

今後も、相談支援専門員、ケアマネジャーが、お互いの役割を知り、相談しやすい、顔の見える関係づくりができるように、研修を続けていきたいと思えます。